

進捗状況の概要

【概要】

1. みやざき COC+推進体制の構築

平成 27 年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の採択を受けて、宮崎大学長のリーダーシップの下、「みやざき COC+推進協議会」を頂点する「みやざき COC+事業推進体制」を確立した。

平成 27 年 11 月 1 日付でみやざき COC+地元定着推進室長を任命し、専門職員（COC 事業担当）を配置した。その後、推進コーディネーター1 名及びサブコーディネーター4 名を新規採用し、地域ニーズを捉えた産業人材を養成するために必要な教育カリキュラムの作成、および学生と県内企業とのマッチングと、地元就職を支援する体制が整った。

2. みやざき産業人材の育成

平成 28 年 1 月 1 日付でみやざき COC+技術補佐員を採用し、みやざき授業配信システムを開発することにより、地域ニーズを捉えた産業人材を教育・育成する準備が整った。平成 28 年 3 月 22 日開催の「みやざき COC+キックオフシンポジウム」で同システムのデモンストレーションを行った。また、平成 28 年度開講科目「地域キャリアデザイン」「地域産業入門」の作成を開始した。

平成 28 年 3 月 15 日に第 1 回宮崎産業人材育成教育プラットフォーム委員会を開催し、7 つの産業ユニットを設置した。7 つの産業ユニットの長を選定するとともに各産業ユニットの役割を確認することにより、地域ニーズを捉えた産業人材を育成する準備が整った。さらに、地域ニーズを捉えた産業人材を養成するために必要な教育カリキュラムについて検討を始めた。

3. 県内就職支援

平成 28 年度の新入生を対象に実施するキャリア意識追跡調査シートを作成した。また、地域資源創成研究センターと共同で宮崎県内企業の雇用需要やインターンシップの受入れ状況のアンケート調査を実施した。新入生に対して地元就職意識や COC+提供科目の受講意欲を調査することで、キャリア意識を追跡調査して 4 年後の就職状況（地域定着率も含む）と修業過程での教育やキャリア支援との関連性を分析することの準備ができた。

平成 27 年 3 月ホームページによる事業内容の情報発信を開始した。平成 28 年 3 月 22 日にみやざき COC+キックオフシンポジウムを開催し、参加者 200 名が集まった。このシンポジウムを通じて、県民・企業関係者や学生が本事業に対して理解（必要性・重要性等）を深めるとともに、本事業の説明責任を果たすことができた。

4. 産業振興・雇用創出

平成 28 年 2 月 3 日に延岡市で「ふるさと雇用推進会議」に参加した。平成 28 年 3 月 22 日付で各校が宮崎県と「宮崎県との地方創生に係る包括連携に関する協定書」を取り交わした。同協定を締結することにより、地域経済団体や企業の雇用ニーズを的確に捉え、教育・研究効果を高めるとともに、異分野連携による新規雇用創出や県内就職促進の対策を協働・推進する礎が整った。地域資源創成研究センターと共同で宮崎県内企業の雇用ニーズやインターンシップの受入れ動向についてアンケート調査を実施した。平成 28 年 1 月 13 日工学部同窓会と平成 28 年 3 月 9 日県内就職イベントについて意見交換を行った。宮崎県内の雇用ニーズの概要が明らかになったので、次年度以降のヒアリングが可能になった。以上のように、異分野連携・融合による地域産業振興に関する研究を推進して学生の地域活動を活性化できる体制を築いた。

(COC+大学名 :宮崎大学、事業名 :大学間連携による地域ニーズを捉えたみやざき産業人材の育成)